

【演題名】

マイボーム腺機能不全とドライアイを鑑別する特異的症状の探索：平戸度島スタディ

【英語タイトル】

To Explore specific symptoms to distinguish MGD from dry eye (Takushima Study)

【ショートタイトル演題名】

MGD の特異的症状は流涙感

【演者】

○有田玲子¹⁾²⁾、溝口尚則¹⁾³⁾、福岡詩麻¹⁾⁴⁾、川島素子¹⁾⁵⁾、高静花¹⁾⁶⁾、白川理香¹⁾⁷⁾、鈴木崇¹⁾⁸⁾、森重直行¹⁾⁹⁾

1) LIME 研究会 2)伊藤医院 3)溝口眼科 4) 大宮はまだ眼科 5)慶應大 6)大阪大 7) 東京大 8) 東邦大大森 9)大島眼科病院

【目的】マイボーム腺機能不全（MGD）とドライアイ（DE）は症状だけで鑑別するのは難しいとされる.MGD と DE の特異的自覚症状を発見するため平戸度島住民検診のデータをもとに探索的研究を行った。

【方法】平戸市度島の 18 歳以上の全島民を対象とし眼症状の問診票として Dry Eye Quality of Score（DEQS）（15 項目）と、LIME 研究会の問診票（4 項目）を合わせて、MGD と DE に関連する質問項目を因子分析と Logistic 回帰分析を用いて検討した。

【結果】解析対象は 311 名（18-96 歳、中央値 63 歳）。因子分析の結果、症状項目は、DEQS 自体による Factor1、DE に関連する Factor2、MGD に関連する Factor3 の 3 つの情報に縮約された。DEQS（Factor1）と DE（Factor2）はよく相関した（ $r=0.469$ ）が、DEQS（Factor1）と MGD（Factor3）は関連しなかった（ $r=0.071$ ）。DE と関連する症状は DEQS の 8 項目と眼脂、掻痒感、圧迫感の計 11 項目で MGD と関連する項目は、流涙感の 1 項目だった。これから症状項目を用いて、Score1（DE 関連項目群）と Score2（MGD 関連項目群）を作成した。Logistic 回帰分析の結果、Score1 は DE と関連した（ $p<0.0001$ ）が MGD とは関連せず（ $p=0.5237$ ）、Score2 は MGD とは関連した（ $p<0.0001$ ）が DE とは関連しなかった（ $p=0.9448$ ）。

【結論】DEQS は DE の自覚症状をよく表す問診票だが MGD の自覚症状とは関連しない。MGD の特異的質問項目は「流涙感」だった。

利益相反 有田玲子 P, C（興和、日本ルミナス） FIV（参天）

溝口尚則、川島素子、森重直行 なし

高 静花 FIV（SEED）

福岡詩麻 FIV（参天）

白川理香 F II（中央産業貿易）

鈴木崇 FIV（メニコン HOYA 興和 千寿）